



多様なカーボンクレジットの活用で持続可能な未来へ ～カーボンニュートラル推進の新たな一歩～

サッポロ不動産開発株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：宮澤 高就）は、これまでJ-クレジットを活用した企業の炭酸ガス排出量抑制の成果を実現してきました。2025年4月以降は、VCS、GS^{※1}などのボランタリークレジット^{※2}を含め、多様なクレジットを活用することで、カーボンニュートラル推進など、さらなる持続可能な未来を目指します。

※1 VCS (Verified Carbon Standard)、GS (Gold Standard) :

厳格な基準に基づき品質が保証される温室効果ガスのクレジットプログラムで、世界で広く使用されている。

※2 ボランタリークレジット :

自発的に温室効果ガスの排出削減や除去を行うプロジェクトに対して発行されるクレジット。企業や個人が自らの排出量をオフセットするために使用される。

当社は、気候変動への対応として、保有全物件で当社が調達する全電力量に相当する非化石証書を調達することにより、テナント使用電力を含めて実質再生可能エネルギー100%を達成しました。また、電力以外のエネルギーについても、自社使用分について、J-クレジットを活用するなど企業の炭酸ガス排出量抑制に取り組んでいます。一方で、証書やカーボンクレジット等の環境価値は多種多様であり、それらが創出する社会的価値も常に変動しています。このような状況をふまえて、当社は従来の取り組み施策にとどまらず、持続可能な未来を築くため、VCSやGSなどのボランタリークレジットを含めた多様なクレジットの活用を決定しました。

この新たな取り組みは、以下の点で企業の持続可能性をさらに強化します。

1. グローバルな視点の導入

国際的に認められるVCSやGSを活用することで、グローバルな気候変動対策に貢献します。

2. カーボンニュートラル推進

適切なクレジットを活用することで、カーボンニュートラルなど新たな社会的価値の獲得を目指します。

3. 柔軟性の向上

多様なクレジットを活用することで、より柔軟かつ効果的な気候変動対策を推進します。

今後も当社は、持続可能な社会の実現に向けて、気候変動対策において不動産業界の最前線に立ち続け、革新的な取り組みを続けます。